**2016年　第35回　明科いいまちサロン**

明科ヒューマン講演会　～牧　美花　心を結ぶメロディーと語り～（主催：明科公民館、共催：明科いいまちつくろうかい）

平成28年6月28日（火）10時～12時　於：明科公民館講堂

お茶うけは手づくりフルーツゼリー

講師とお茶を頂きながら歓談

お茶を頂きながら夫々団欒の一時を

鈴木さんより開会

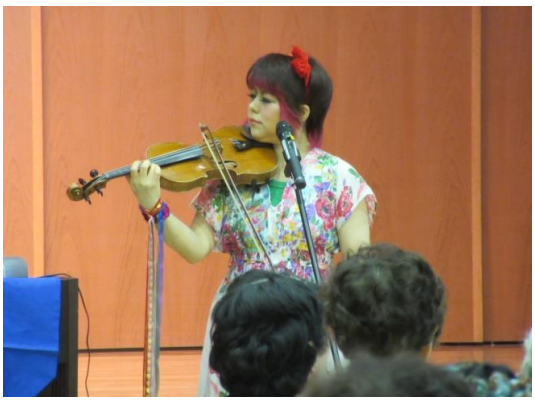
安井公民館長より開会あいさつ

講師の牧　美花さんを鈴木さんより紹介

ヴァイオリン演奏

ヴァイオリンでメロデーを奏でながら観客席を回る

オレンジ色のペンギンを語る



ヴァイオリン演奏（語りの中で歌うこと、笑うことは長生きのコツ）

風船にくしをさす　・・・割れるか？（厚いところへくしを差せば割れない）

罅割れた壺の語り（夫々罅ににあった種を撒く）

ヴァイオリンの曲に合わせて皆で歌う

語り　ハンディキャップを背負いどんな生活を人生を
精一杯生きる事で大切なチャレンジ・・・・・・・

演奏

誰でもが持っている様々な条件　今生きている一瞬を
大切にしよう。互いに頑張って夫々のチャンピオンに

365日の紙飛行機・川の流れのように　　演奏
悲しい涙、こうして微笑む、癒す事　貴方に合えて良かった
何時も微笑んでいよう。貴方がいる事を　此れからも一緒に進んで行こう

お礼の意味を含め花束贈呈

牧　美花さんからお礼の言葉

最後に全員で　宮下さんの指揮で　わが町　を合唱

朝の内は雨模様で足元の悪い中皆さんの出足を心配したところですが、開演時には80余名の皆さんが足を運んでいただき盛大に　明科ヒューマン講演会　～牧　美花　心を結ぶメロディーと語り～　を開催することができました。

美しいヴァイオリンの演奏と心に染み渡る語りに耳を傾け　時間の過ぎるのを感じさせない一時でありました。ヴァイオリンの演奏と語りは私たちに素晴らしい感動と心安らぐ時間を与えていただきました。

牧　美花さんは、生まれつき左手が不自由で、医師には左手を使うことは無理だと言われたが、2歳8か月の時にスズキメソードの鈴木鎮一さんと出会い、通常左手で持つヴァイオリンを人と反対の右手で構えることでハンディを乗り越え、才能を開花させました。クラシックや映画音楽、歌謡曲など多彩な曲を演奏披露し、信濃の国、故郷、365日の紙飛行機などでは、参加者も歌を口ずさんでおりました。大勢の方に愛情を注いでいただき、そのままで良いと言ってくれたので今の自分があると感謝し、視点や考え方を変えて、何でも受け入れることで柔軟になれると話された。